

11 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 （ 要 点 ）

日 時 場 所	令和6年11月25日（月）午後2時00分 庁舎第3別館2階 会議室
出席委員	教育長 小澤和樹、委員 山本泰正、委員 長井俊朗 委員 竹田美和、委員 野間真美
会議に出席した者の職・氏名	副教育長 鳥生敬二、教育政策局長 波頭健 教育大綱推進課長 鳥生幸司、学校教育課長 井上洋 生涯学習課長 畑紀輔、学校給食課長 清水恵蔵 教育大綱推進課長補佐 崎山憲一
傍聴人	なし
議事日程	1 10月教育委員会会議録の承認 2 会議録署名委員の指名 3 教育長報告 4 議題 議案第44号 令和6年度教育費補正予算に係る意見聴取について 議案第45号 今治市文化財保護審議会委員の委嘱について その他 寄附採納報告について
小澤教育長	午後2時00分、開会を宣す 日程番号1、10月定例教育委員会の会議録を承認してよいか問う
－各委員－	承認する
小澤教育長	日程番号2、会議録の署名委員に、竹田委員、野間委員を指名する。 日程番号3、教育長報告を行う 質疑がないか問う
－各委員－	質疑なし <議題審議>

小澤教育長	「議案第 44 号 令和 6 年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明を求める
波頭教育政策局長	—「議案第 44 号 令和 6 年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明—
小澤教育長	質疑はないか問う
—各委員—	なし
小澤教育長	同意するか問う
—各委員—	同意する
小澤教育長	「議案第 45 号 今治市文化財保護審議会委員の委嘱について」説明を求める
畑生涯学習課長	—「議案第 45 号 今治市文化財保護審議会委員の委嘱について」説明—
小澤教育長	質疑はないか問う
—各委員—	なし
小澤教育長	承認するか問う
—各委員—	承認する
小澤教育長	「その他 寄附採納報告について」説明を求める
鳥生教育大綱推進課長	—「その他 寄附採納報告について」説明—
小澤教育長	他に意見はないか問う
竹田委員	<p>先日開催された今治市 P T A 連合会の情報交換会での講演の内容を少し紹介します。今回「地域と P T A との関わり」というテーマで、3 つのテーマについて情報交換等を行いました。1 つが「防災」、1 つが「こども安心パトロール(青パト)」、1 つが「地域おこし」で、「地域おこし」は大西が今年夏祭りを復活させた話でした。</p> <p>防災は、地域との関わりを持つための防災についての講演を行い、P T A だけじゃなく、その地域のコミュニティ、老人会や自治会な</p>

どとコミュニケーションを取っていないと、地震や災害等が起きたときに防災活動がスムーズにいかないのではないかという内容で、今後、ぜひコミュニティ・スクールで議題に上げてもらいたいと思いました。防災危機管理課の方が講演してくださったのですが、コミュニティ・スクールで呼べば来ていただければと思いますので、各学校に案内していただけたらと思います。

子ども安心パトロールは、2008年頃はかなり数も多くて活動が活発だったのですが、今は人数も減ってきています。講演の中で、活動が活発だった頃は、このパトロールによって、痴漢などの軽犯罪が200件以上減少された報告もあり、自分たちの子どもを守るためにという内容の講演でした。こちらにも案内いただきコミュニティ・スクールで議題にあげてもらったらと思います。

防災の講演の中で、災害時に今治市でも安否確認をとることがなかなか難しいという話がありました。私の会社では、地震が起きたときに安否確認の方法として、安否確認メールを導入していて、震度5強の地震が来ると、自分や家族の安否、住居の状況、出社できるかという内容のアンケートが自動的に職員に送られてきます。市全体では難しいかもしれませんが、教育委員会として、学校での安否確認を、SNSやマチコミなど何らかの方法を使ってできないものかなと思っています。子どもと子どもの家族の安否だけでも、学校の方で確認できたら、今治市全体の安否確認も、早くできるのではないかと思います。

野間委員

うちの会社も同様の安否確認メールを利用していますけれど、集計は楽ですよ。やはり学校の先生がいつ出勤できるかということは、すぐ把握した方が良いと思います。

竹田委員の話に関連しますが、最近の愛媛新聞に南予の学校での避難訓練の写真が載っていました。そこで今治市での避難訓練はどうなのかを知りたいのと、避難訓練などに合わせて連絡の仕方も訓練しておけばいいと思います。

小澤教育長

災害時に各学校でマチコミのグループ機能等を活用して保護者や教職員の安否確認ができるようになっており、各校の情報を教育委員会で取りまとめるようにしています。

昨年度は国分小学校を避難所として、県の防災訓練が行われました。地域と学校が連携して、避難所を運営する訓練をしました。今年は9月初旬に玉川町で学校も協力し実施予定でしたが警報が出てできませんでした。

今年度、吉海小学校では市の教育研究所の指定で、さらに地域の連携が必要ということで、防災の取組を行っています。

市内のそれぞれの学校で避難訓練を地域や保護者と連携してやっ

ていると思うのですが、今年度はその吉海小学校での取組を紹介し各校への横展開を図っていきたいと考えています。

野間委員

今後、何が起きるかわからないことを考えますと、災害がお正月や真夜中に発生したときに、市職員や校長や教頭などの先生、その家族の方も大変な状態になったときはどうするか、今治市とか愛媛県全体が被災した場合の想定はしていませんよね。

小澤教育長

そのような場合は、学校、教育委員会と市長部局、また、市と県等との連携が必要になってきます。まず、教育委員会としては、学校と、それぞれの学校の地域での連携を教育委員会が把握して、市長部局と連携する形になります。

避難訓練も、いつどこで起きるかわからないようなところの想定に変えていくとか、今おっしゃったような、さらに課題になってくる事柄を取り入れた避難訓練を今後取り組む必要があると思います。

小澤教育長

他に意見はないか問う

—各委員—

なし

午後 2 時 23 分閉会を宣す